

# バス路線網再編に向けた検討の方向性(案)

## ■ 函館市地域公共交通網形成計画

### 【函館市の公共交通のめざすイメージ】



### 【主要施策および実施施策】

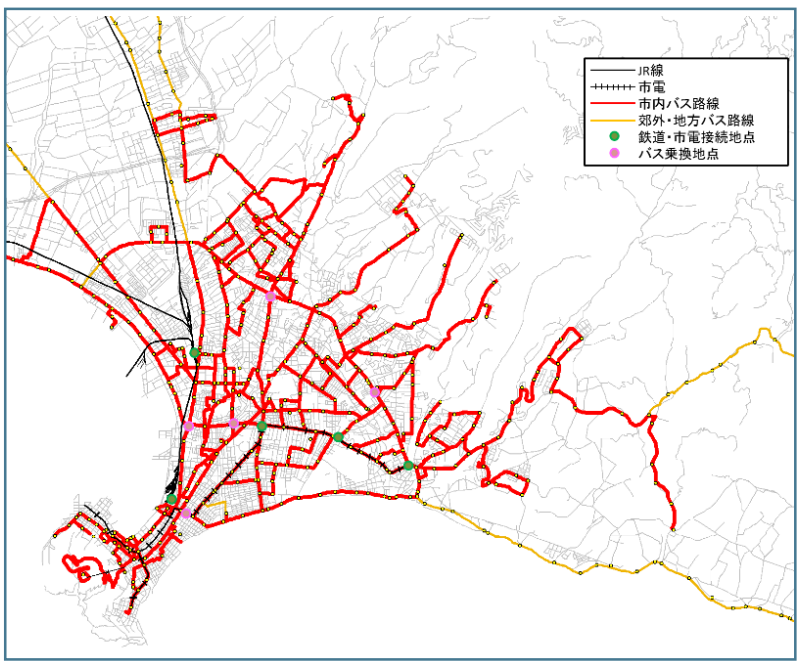
主要施策	実施施策
<p><b>(1) 交通結節機能とサービスレベルの向上による、効率的で持続可能な交通ネットワークの構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通結節機能を強化し、ゾーンバスシステムを中心としたわかりやすい路線網へ再編するほか、誰もが利用しやすい公共交通を目指し、利用環境や走行環境の整備・改善により、公共交通サービスレベルの向上を図ります</li> </ul>	<p><b>ア</b> バス路線網の再編 ●バス路線網の再編 ●系統番号の見直し</p> <p><b>イ</b> 交通結節機能の強化 ●交通拠点の整備 ●交通結節点における円滑なバス運行の確保</p> <p><b>ウ</b> 乗継ぎ利便性の向上 ●乗継割引制度の充実 ●ICカードの導入</p> <p><b>エ</b> 待合環境の改善 ●停留所・停留場の上屋整備 ●情報発信の充実</p> <p><b>オ</b> 目的に応じたダイヤの設定 ●始発・終発時刻の延長 ●朝夕の急行便の運行</p> <p><b>カ</b> 利用しやすい料金体系の導入 ●均一料金制・ゾーン料金制の導入</p> <p><b>キ</b> 低床車両導入の促進 ●ノンステップバス・低床車両導入の促進</p> <p><b>ク</b> 快適な走行環境の整備 ●バスレーン・公共車両優先システムの導入 ●道路整備の促進</p>
<p><b>(2) 地域の特性に応じた交通ネットワークの構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東部地区のバス運行形態の見直しなど、地区特性に応じた運行形態への見直しを図ります</li> </ul>	<p><b>ア</b> 地区特性に応じた運行形態への見直し ●東部地区バスの運行形態の見直し ●デマンド方式の導入</p>
<p><b>(3) 交通機関相互の連携強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道新幹線開業後の状況の変化に対応するなど、路線バスと他の交通機関の連携を強化します</li> </ul>	<p><b>ア</b> 路線バスを中心とした他の交通機関との連携強化 ●鉄道・市電との連携</p>
<p><b>(4) 新たな需要創出に向けた利用促進および市民意識の醸成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動車への過度な依存からの是正に向け、公共交通への利用転換などによる新たな需要の創出を図ります</li> </ul>	<p><b>ア</b> モビリティマネジメントの推進 ●出前講座の実施 ●マップの作成</p> <p><b>イ</b> ノーマイカーデーの推進</p> <p><b>ウ</b> イベント開催や企画切符の販売</p>

※ [ ] 「地域公共交通再編事業」の対象となる施策

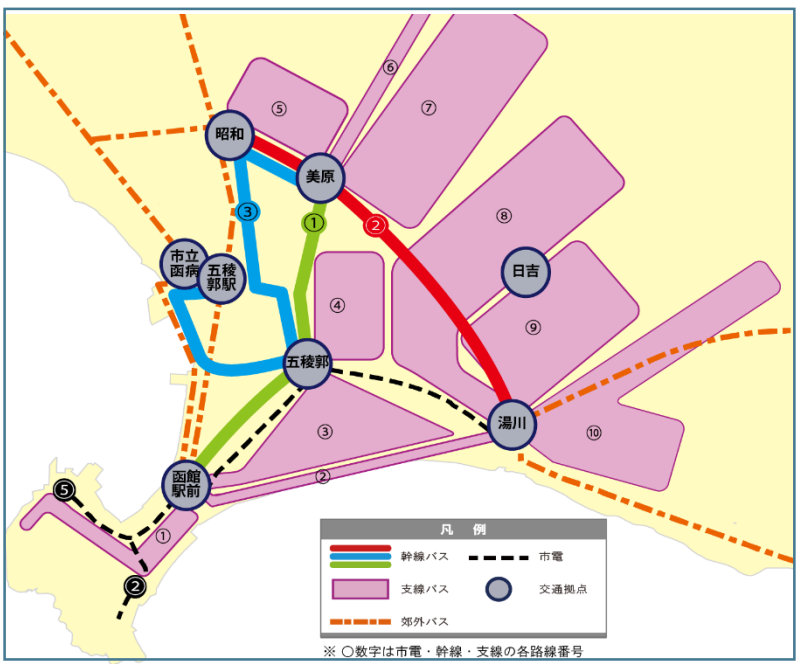
# バス路線網再編に向けた検討の方向性(案)

## ■ バス路線網再編の概要

再編前



再編後



### 【バス路線網再編の実施条件】

- **利便性の維持・向上**
  - ・ 交通結節機能の強化
  - ・ 乗継ぎ利便性の向上
  - ・ **系統番号の見直し**
  - ・ 利用しやすい料金体系の導入
- **効率的な運行・収支バランス**
  - ・ **ICカードシステム導入によるデータの活用**

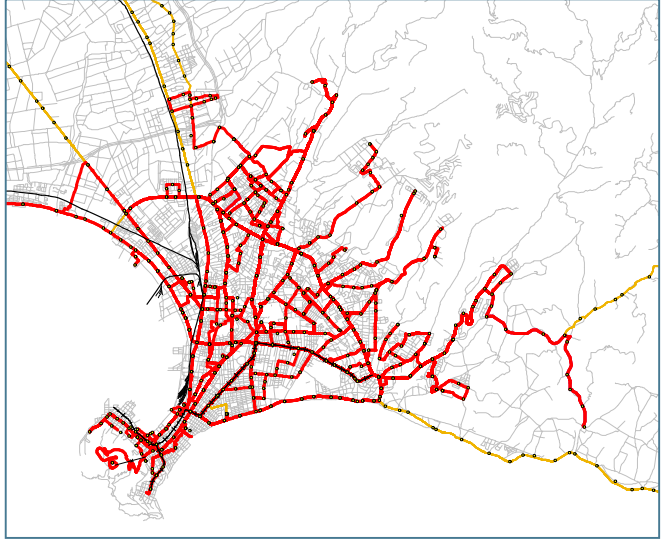
できるところから着手

段階的なバス路線網の再編  
(段階的な再編実施計画の作成)

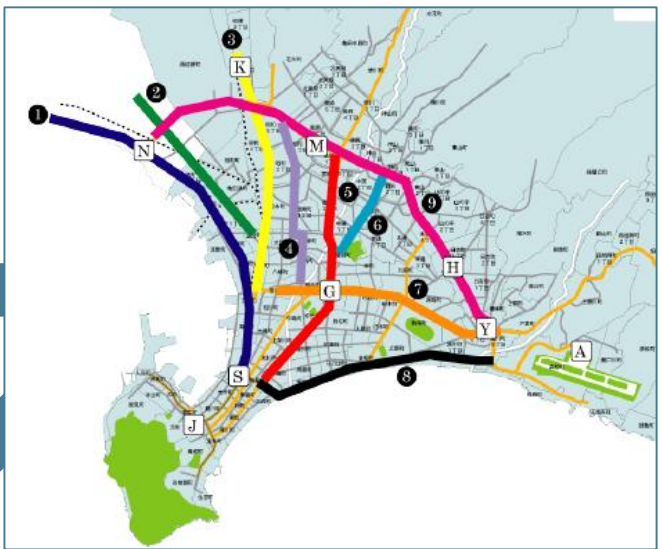
# バス路線網再編に向けた検討の方向性(案)

## ■ 段階的なバス路線網の再編について①

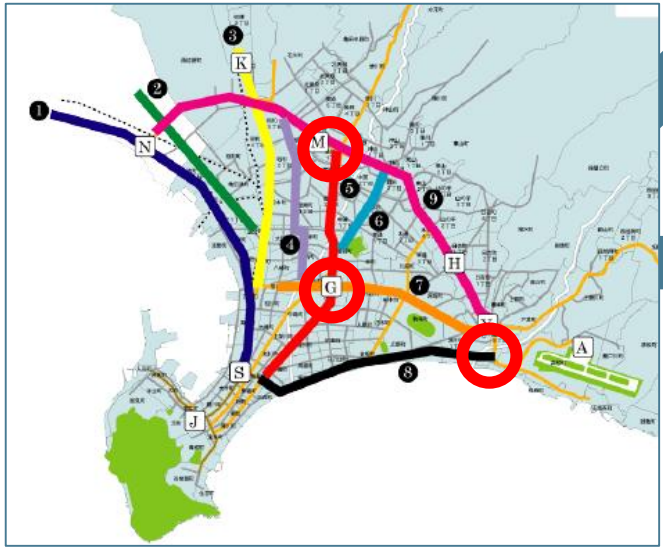
### 【再編前】



### 【再編第一弾】 基盤路線網の整理



### 【再編第二弾】 交通拠点の整備



### 【再編後】





# バス路線網再編に向けた検討の方向性(案)

## ■ 段階的なバス路線網の再編について②

### 【再編第一弾の概要】

#### ・ 系統法則性の整理(案)

##### ①主要停留所のアルファベット化

アルファベット	停留所
A	函館空港
G	五稜郭
H	花園町
J	十字街
K	桔梗
M	美原
N	七重浜
S	函館駅前
Y	湯倉神社前

##### ②経路の数字化

番号	経路
1	旧上磯線
2	旧大野線
3	七飯線
4	桐花通
5	赤川通
6	鍛冶線
7	電車通
8	漁火通
9	産業道路

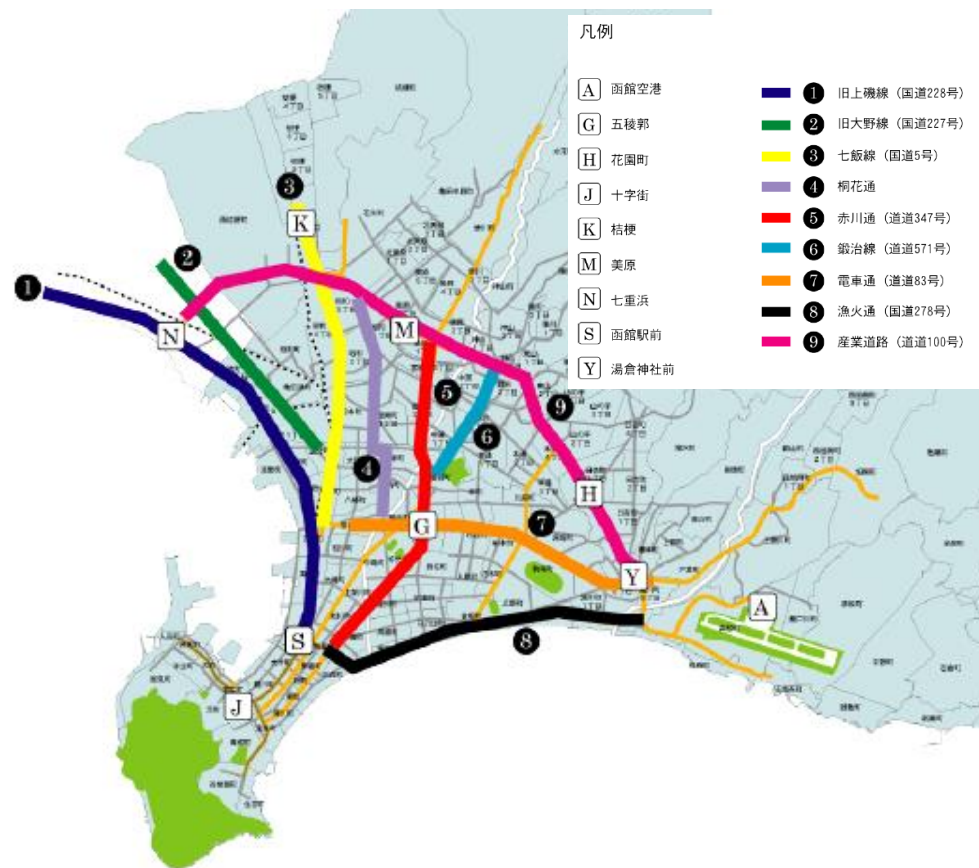
経由する主要停留所のアルファベットと経路の数字を組み合わせ「系統」を作成

例) 現行 1 5 1 系統 → GM 5 1

バス路線網の再編に向け、基盤となる系統番号を法則性に従い整理する。

これにより、幹線・支線へと分ける際、利用者の混乱を緩和できる可能性が高まる。

各種案内表示についても、系統番号の見直しと合わせて整理する。



#### ・ ICカードシステム導入によるデータの活用(案)

今まで把握できなかった乗り継ぎ後の動きも把握可能となる。より実態に合ったバス路線網の再編ができる可能性が高まる。